

決算概要

カガクで
ネガイを
カナエル会社

KANEKA

平成26年3月期
第3四半期

株式会社 カネカ

平成26年2月10日(月)

目次

§ 業績概要	P. 3
§ セグメント別事業概況	P. 4
§ 業績予想	P. 5
§ トピックス	P. 6

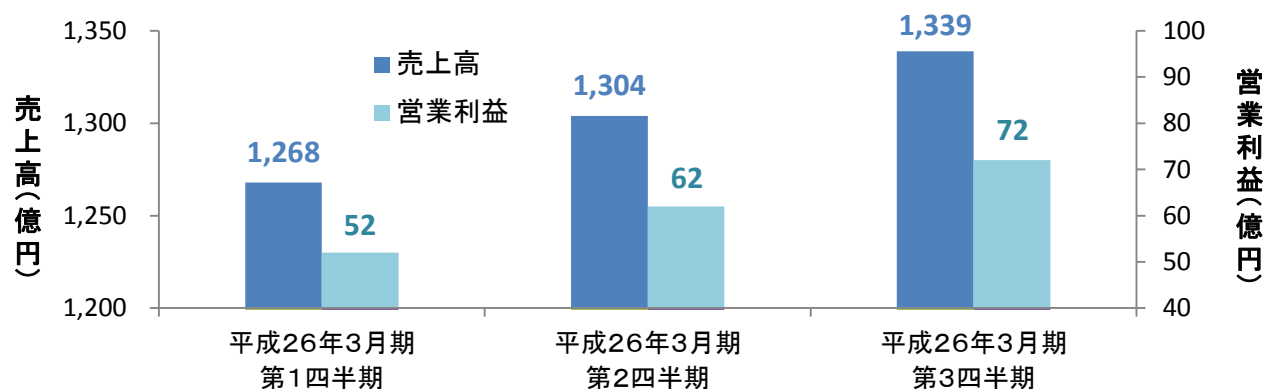
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績概要

- ◎対前年で増収、各利益段階とも増益。
- ◎売上高、営業利益とも、四半期を追うごとに拡大。
- ◎R & D活動の強化、グローバル展開の促進、事業構造の変革を推進。

(単位:億円)

	25年3月期 第3四半期累計	26年3月期 第3四半期累計	増減
売上高	3,533	3,910	378
営業利益	118	186	68
経常利益	120	199	79
四半期純利益	66	121	55



セグメント別 事業概況

◎売上高は全セグメントで増収。営業利益は、機能性樹脂、食品、合成繊維、その他が増益、エレクトロニクスは黒字化。全セグメントで黒字。

- エレクトロニクス：超耐熱性ポリイミドフィルムの販売が増加。透明導電性フィルム（ITOフィルム）本年度事業化。太陽電池の国内住宅市場向け販売が増加
- ライフサイエンス：還元型コエンザイムQ10の販売が増加
- 機能性樹脂：モディファイヤー、変成シリコンポリマーの販売が国内外で増加
- 合成繊維、その他：高付加価値品の拡販進む



(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	25年3月期 第3四半期累計	26年3月期 第3四半期累計	25年3月期 第3四半期累計	26年3月期 第3四半期累計
化成品	701	769	28	18
機能性樹脂	519	629	45	68
発泡樹脂製品	446	501	36	35
食品	976	1,009	38	43
ライフサイエンス	342	345	69	51
エレクトロニクス	304	360	△28	7
合成繊維、その他	244	297	34	67
調整額	—	—	△104	△102
計	3,533	3,910	118	186

業績予想

(単位:億円)

	25年3月期 通期 実績	26年3月期 通期 予想	増減	
売上高	4,765	5,300	535	11.2%
営業利益	158	300	142	89.8%
経常利益	163	280	117	71.3%
四半期純利益	93	150	57	60.9%

◎通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(設備投資)

○アクリル系繊維設備新設

アクリル系繊維(商標名:カネカロン)の製造設備をカネカマレーシアの敷地内に新設します。

生産能力は12,000t/年で、当社高砂工業所の生産能力61,000t/年と合わせて、合計73,000t/年の生産能力となります。投資金額は約90億円です。稼働時期は2015年10月を予定しています。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140210>



○PT. Kaneka Foods Indonesia 開業式典を開催

2013年10月に設立したPT. Kaneka Foods Indonesiaは2014年1月に製造設備・事務所が完成し、2月3日に政府、地元関係者や取引先などの出席を得て、開業式典を開催致しました。

2月中の本格稼働を目指します。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140207>



(グローバル展開)

○ナイジェリアでのKanekalon Hair show 2013の開催

ナイジェリアでカネカロン(アクリル系合成繊維)を使用したヘアエクステンションに関するイベント【Kanekalon Hair show 2013】を2013年11月2日に開催しました。1987年を皮切りに、26年もの間ナイジェリア女性に愛され続けてきたカネカロンは戦略的にイベント、メディアを通じて積極的な情報発信を2010年より継続して実施しておりブランドの認知度もますます高まってきています。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/131121>



○BASFアクリル系モディファイヤー事業譲受に合意

Kaneka Belgium N.V. は、BASF SEと、同社のアクリル系モディファイヤー事業譲受に合意し、資産譲渡契約を2013年12月4日に締結しました。

2011年のEvonik社からの事業譲受に引き続き、今回のBASFからの譲受により、欧州におけるアクリル系モディファイヤー事業の強化を図ります。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/131206>



○「カネカUS(ユーエス)マテリアル・リサーチ・センター」を開設

グローバル規模のオープンイノベーションを実践していくために、テキサスA&M大学内に、当社の新たなR&D拠点を開設しました。米州統括会社カネカアメリカズホールディングの傘下とし、米国の最先端のR&D成果をタイムリーに取り込みながら現地視点に立った成長戦略を策定、実行することで、当社のグローバル展開を更に加速させます。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/131120>



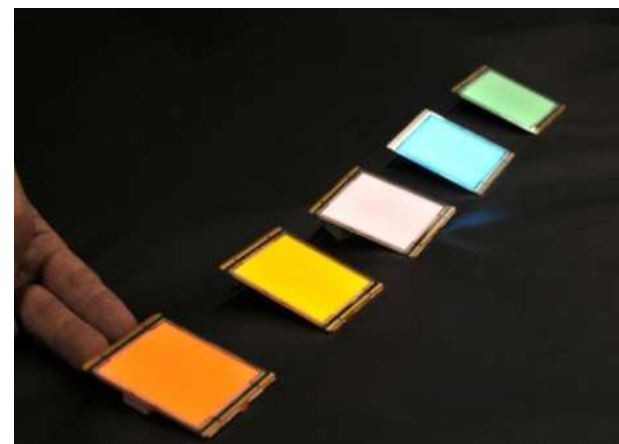
(新製品)

○「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美」に当社有機EL照明パネルが採用

当社の有機ELパネルが、東京国立博物館にて2014年1月15日から2月23日まで開催中の「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美」のメイン展示である雷神図屏風「伊年」印の展示照明として採用されました。

絵画・美術品の展示照明分野に当社有機EL照明パネルを積極展開していきます。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140109>



○末梢動脈閉塞性疾患の重症度を評価する皮ふ灌流圧測定装置「PAD4000」を発売

末梢動脈閉塞性疾患の重症度を評価する皮ふ灌流圧測定装置「PAD4000」の販売を本年1月20日より開始しました。当製品はVasamed Inc. より輸入し、株式会社カネカメディックスを通じて、日本国内において独占販売する。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/140129>



KANEKA

カガクでネガイをカナエル会社